

コスタリカ内政・外交定期報告(2024年9月)

【ポイント】

内政

- チャベス大統領の支持率54%維持
- マルタ・エスキベル社会保険庁(CCSS)長官他の汚職容疑による逮捕

外交

- 直近2年間に国会職員87名が訪中
- アンドレ外相の第79回国連総会出席

【本文】

内政

- チャベス大統領の支持率54%維持

9月11日、コスタリカ大学政治研究センター(CIEP)が発表した世論調査結果によると、チャベス大統領の職務に対する肯定的な評価は54%であり、同年4月の調査結果と同一だった。CIEPは、チャベス大統領が「ジャガー法」を国民投票に託す方針を示したが、支持率向上にはつながらなかったと述べている。

- マルタ・エスキベル社会保険庁(CCSS)長官他の汚職容疑による逮捕

9月23日、当国検察当局は、マルタ・エスキベル社会保険庁(CCSS)長官等、計8名のCCSS幹部を汚職容疑で逮捕した。2021年より、全国138のエバイス(CCSS管轄下の小さな公立診療所)の運営に関する医療共同組合への契約発注において、高額な過大発注が行われていたとされる。

外交

- 直近2年間に国会職員87名が訪中

9月9日、当地メディアは、2022年5月1日～2024年7月31日の約2年間で、当国国会職員に合計91回の休暇が与えられ、計87名の職員が中国で実施されたセミナーに参加したと報じた。同期間に記録された国会職員の他国への出張回数は極めて少ないとし、グアテマラ6回、ドミニカ共和国2回、パナマ2回、メキシコ1回、米国1回、プエルトリコ1回、ホンジュラス1回、モロッコ1回、ボリビア1回、スペイン1回のみである。

● アンドレ外相の第79回国連総会出席

9月22日～28日、アンドレ外相は、第79回国連総会に出席した。同外相は演説において、人類が直面する課題と多国間主義が果たすべき役割を強調し、中南米地域における民主主義の課題について言及した。また、三つの気候危機（気候変動、環境汚染、生物多様性の損失）、組織犯罪、地政学的危機、軍縮、国際金融システムの改革、海洋保護についても言及した。